

# 令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する筑邦西中学校プラン

《学校の教育目標》 夢の実現に向けて、逞しく挑戦する生徒の育成

《本年度学校の重点目標》 ○非認知能力の育成 キーワード：わかった・できた・がんばった

○組織的・計画的・協働的な校務分掌の推進

基本的な知識・技能を習得し、新たな場面において活用することができる。【つくる力】

状況に応じて自らを積極的に表現し、他と協調しながら判断できる。【つなぐ力】

目的意識をもち、自ら課題解決の方法を考え、最後まで達成しようとする。【つらぬく力】

## 学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②学力調査や各単元におけるレディネステスト等の結果分析を踏まえ授業づくりに取り組む。  
(研修1回 各学期1単元)  
【成果指標】「学習内容がわかった、できたと感じる場面がある」3.5以上:4段階評定(生徒授業評価)
- ③Chromebook等のICTを活用して教材等の提示、情報の収集等の学習活動を行う。(1日1回)
- ④各学年でALTを活用し、自分の考えや思いを外国語で伝え合う活動を行う。(ALT派遣日数×2時間)

## 笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②会議・研修等の効率化を図るために、資料の事前配布(毎回)、各部会の時間割内開催(週1回)する。  
【成果指標】「年休取得日数の10%向上

## 協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

## 楽しい学校

- ①「筑邦西中アクションプラン」の徹底を図る。いじめ不登校対策委員会(週1回)で、情報の共通理解を図り対応を検討し、全職員で共有する。緊急性がある場合には、臨時の委員会で対応を検討する。教育相談週間を学期に1回設定し、生徒の状況や悩みを把握する。【成果指標】不登校数 3.0%以下 いじめの認知件数 50%増加。
- ②積極的な生徒指導と危機管理の徹底を推進し、組織的で未然防止を重視した教育活動を行う。
- ③帰りの会の充実を図り、毎日の振り返り活動を行う。班やグループで自己評価・相互評価を行う。

## 【体力向上】

- ①柔軟性を高めるストレッチ運動の実施(毎時間)
- ②保健体育の授業において、「筑トレ」行う。  
(1校1取組運動)  
・体力アップシート活用率:目標 100%

## 【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①生徒会で「朝の挨拶運動」に取り組み、その状況を学級・学年で評価する。(毎学期)
- ②無言清掃に取り組み、帰りの会においてその状況を振り返る。(毎日)
- ③学年ごとに自学ノートを作成し、実施・点検する。(毎日)

## 基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】 人権・同和教育の視点に基づいた「学習活動」「集団づくり」を行う。 [要綱 P 55参照]
- 【特別支援教育】 個に応じた支援を充実させ、インクルーシブ教育の充実を目指す。 [要綱 P 60参照]
- 【キャリア教育】 自己有用感を育み、将来の進路選択を見据えた学習活動を行う。 [要綱 P 51参照]